



青ぶな山トンネル避難坑工事現場見学 五所川原農林高等学校の学生が参加



7月20日(水)、奥入瀬(青楓山)バイパスで施工中の青ぶな山トンネル工事『避難坑』の工事現場を青森県立五所川原農林高等学校環境土木科の3年生36名が見学しました。

奥入瀬(青楓山)バイパスは、一般国道103号の青森県十和田市青楓山～十和田市子ノ口の幅員狭小、線形不良及び急勾配の隘路区間や交通規制区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした道路です。

見学会では、奥入瀬(青楓山)バイパスインフォメーション館で事業・工事概要の説明を受け、トンネル坑口で施工概要の説明を受けた後、実際のトンネル内部を見学しました。

見学会の少ないトンネル工事の施工技術に触れることができ、有意義な現場体験になったようです。

※避難坑とは、本坑に先駆けて掘削し地質や土質、水脈の調査などを行うということと、本坑開通後に車両事故等があった場合の避難路となるという二つの役割があります。

【見学状況】

インフォメーション館



トンネル坑口



トンネル坑内

